

鹿大「進取の精神」支援基金 令和元年度 留学生受入推進事業  
研究留学生受入推進プロジェクト 報告書

令和元年10月1日

1. 申請者 (所属・職名・氏名)	法文学系・准教授・鵜戸聡
2. 受入留学生 (国・大学・学年・氏名)	(1) 台湾・成功大学・修士4年・吳慧怡 (WU, HUI-YI)
	(2) 台湾・成功大学・修士2年・梁丞佑 (LIANG, CHENG-YU)
3. 留学生受入期間	平成31年4月 ～ 令和元年9月
4. プログラム研究分野	人文学
5. 本プログラムの目的と概要と成果 (申請者/日本語)	
<p>人文系では留学生の多くが日本学を専攻しており、また個人単位で研究内容が大きく異なるため理系のようなラボ単位での共同研究・指導を行うことが難しいという事情があるが、歴史的経緯により日本の影響が大きい台湾から、日本研究を専攻していないが研究の内容上日本との関わりが大きい学生を、以前より研究・教育において交流のあった成功大学台湾文学科から受け入れ、鹿児島県に特有の文化・自然遺産を絡めて人文学的な研究指導を共同で行うこととした。</p> <p>当該学生は、ともに台湾の文化研究を行っているが、「サブカルチャーにおける台湾妖怪の興隆が台湾人意識の高まりとどのような関係にあるのか」や「台湾人をはじめとした外国人観光客とアニメ聖地巡礼」に関心を持っていたため、豊富な妖怪伝承を持つ鹿児島の民俗や妖怪を主要なモチーフとしたアニメ『夏目友人帳』の「聖地巡礼」の対象となっている人吉市の観光を題材に、中国語圏における日本のサブカルチャーの影響に関する論文や、日本の妖怪学やモンスターについてのフランス民俗学の論文のほか、柳田國男の『妖怪談義』から川内川の河童などを論じた箇所を読むなど、ゼミ形式で授業を行なった。また夏季休暇中に、鹿児島で民俗学調査を行っている熊華磊特任助手と兼城糸絵法文学部准教授の協力のもと、鹿児島県の民俗についての特別レクチャーを3日にわたって中国語で行なった。</p> <p>台湾のみならず、東アジアからの留学生は日本文化に関する知識が豊富であるが、地方の歴史や伝統文化についてはまだまだ認識が浅い。今回のプログラムは、日本文化の地域的多様性について、南九州の事例を通して、どのように留学生に教授していくかのケーススタディでもあり、また日本学を専攻としない留学生を人文学系の大学院でどのように教育するか、というシミュレーションの一環ともなったと思われる。</p>	
6. 鹿児島大学での研究活動と成果 (Student/English or Japanese)	
Explain your activities and achievement for your research in Kadai.	
(1) 吳慧怡 (WU, HUI-YI)	
<p>私は来日前に、鹿児島大学での指導教員である鵜戸聡先生に研究計画書を提出しましたが、それは台湾で行っていた「サブカルチャーにおける台湾妖怪の興隆が台湾人意識の高まりとどのような関係にあるのか」という研究を基にしたものです。そのため、鵜戸先生は日本における妖怪研究の様々な資料を紹介し、歴史学的なものから民俗的なもの、近現代文学での取り扱いなど、幅広く説明してくださいました。この授業によって、私の研究の地平が大きく開けました。鹿児島で得た研究資料は台湾に持って帰ってさらに詳しく検討しているところです。また、夏休み中に鹿児島民俗学についての特別セミナーを、熊華磊先生と兼城糸絵先生とともに三日間も開いて頂き大変感謝しています。とりわけ熊先生の研究にかける情熱に強い印象と啓発を受けました。黎明館見学では、鹿児島がこのように豊かな文化遺産を有していることに初めて気づきました。また、先生方のお薦めにより、上京の折に国立歴史民族博物館で妖怪研究に関わる展示も参観しました。</p>	
(2) 梁丞佑 (LIANG, CHENG-YU)	
鵜戸先生のご指導のおかげで、日本独特の文化現象である「アニメ聖地巡礼」の研	

究を進めることができました。海外のアニメファンにとって「聖地巡礼」は日本の観光スポット・伝統文化に触れるためだけのものではなくて、心から憧れているアニメの世界への架け橋として考えられています。アニメファン、地域住民、アニメメーカー（作者）の三者、さらには関連する企業を加えた四者が、どのような形で交流し、どのような影響を及ぼし合っているのか、まず先行研究の調査によって、相互にメリットがある関係性を構築してきた事例をまとめた。しかし、アニメ作品の影響力が相対的に低減した場合、それらを通じた地域活性化は今後実効性をもちうるのでしょうか。聖地巡礼の効果が弱まってきた段階での事例研究はあまり多くはないため、この問題意識について今後の課題として検討を続けたいと思います。鹿児島大学に留学していた間、屋久島と種子島を訪ねてみました。屋久島は映画「もののけ姫」の舞台として海外のアニメファンに知られるようになりましたが、その美しい景観自身が訪れる観光客を魅了します。種子島は新海誠監督の「秒速5センチメートル」で、アニメの「聖地」として注目されています。観光客にとっては自分が「聖地」にいるということが既に感慨深いものですが、島の自然や宇宙センターといったその他の魅力に改めて気づく機会でもあり、アニメファン以外へのアピールへもつながっていきます。鹿児島大学のおかげで、私は将来のキャリアを決めました。まだ長い道のりを踏み出したばかりですが、私は研究者としての進路を選び、日本で博士号を取るための第一歩を踏み出すことにしました。